

sample

検査Ⅲ 国語

1

【二】 次の文章は、渡邊雅子『論理的思考とは何か』の「はじめに」の一部である。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。※出題上、一部省略した部分がある。

sample

検査Ⅲ
国
語

sample

検査Ⅲ
国
語

問一 二重傍線部①「エンカツ」、②「ラクダイ」、③「シナン」、④「陥」、⑤「抽出」について、漢字はその読みを、カタカナはその漢字を答えなさい。

問二 傍線部A「アメリカ式のエッセイの型」とあるが、傍線部の内容を具体的に説明している箇所を、本文中から二九字で探し、始めと終わりの五字を答えなさい。

問三 傍線部B「アメリカとフランスの小論文」とあるが、アメリカ式エッセイと、フランス式小論文の違いを次のようにまとめた。この文に続くように、フランス式小論文について一二〇字以内で答えなさい。

アメリカ式のエッセイは、自己の主張を分かりやすく効率的に論証して、相手を説得することを目的とし、主張に関係しない要素を削ぎ落とすことによつて、複雑な世界を単純化して問題解決を行うのに対して、フランス式小論文は、……

問四 次のア～オについて、この文章の内容と合致している場合は○、合致していない場合は×として答えなさい。

ア 筆者がアメリカの大学において、エッセイの評価を上げることができたのは、アメリカの論理的思考の型を身に付けて、それに沿ってエッセイを書いたことに加え、筆者の英語力の上達があったためである。

イ 日本では、アメリカとフランスを「西洋」として一括りに論じることが多いが、アメリカとフランスの小論文の構造は全く別物であることから、今後は両者を一緒に論じるべきではない。

ウ ビジネスだけでなく、多くの領域で世界標準の書き方になっているアメリカ式エッセイは、多くの人にとって必須の知識と技術とすることができ、他国の小論文と比較しても、圧倒的に優れたものだとも言える。

エ 国ごとに無数に論理とその思考法があると考えるよりも、論理的思考の型は有限であり、「経済」、「政治」、「法技術」、「社会」の四つの領域に便宜的に分けて考え、「どの領域の論理を使うのか」というアプローチを取る方が有益である。

オ 学校の作文に着目する有効性は、作文実験の結果とその実験結果を裏づける教育の目的と実践から明らかにされており、子どもの作文の型から経済や政治領域の思考法を理解することは十分可能である。

問五 傍線部C「それぞれの国の人々が相手の説明に納得できない理由」とあるが、本文中の「ある少年の一日を描いた四コマ漫画を、日本とアメリカの子どもが説明した実例」において、日本人にとってアメリカの子どもの作文が納得できない理由を七〇字以内で説明しなさい。

問六 破線部「論理的思考の思わぬ落とし穴にはまる」ことを避けるためには、どんなことが大切だと筆者は考えているか。この文章全体を踏まえて、一三〇字以内で説明しなさい。

【二】平安時代の女流歌人「赤染衛門」についての文章Ⅰ～Ⅲを読んで、あとの各問いに答えなさい。

I 『古本説話集』

今は昔、赤染衛門といふ歌詠みは、時望^{ときもち}といひけるが女、入道^{いんどう}殿に候ひけるが、心ならず匡衡^{きやうへい}を男にして、いと若き博士にてありけるを、事に触れて、^{*}のがひ厭^{いと}ひ、あらじとしけれど、男は^(い)あやにくに心ざし深く成りゆく。殿の御供に、住吉へ参りて、詠みて遣^{おこ}せたる、

a 恋しきに難波の事もおぼへえずたれ住吉のまつといひけん
返事、

b 名を聞くに長居しぬべき住吉のまつとはまさる人やいひけむ
逢ふ事の^(う)有^あがたかりければ、思ひわびて、稲荷の神主の許^{もと}へ通ひなどしけれど、心にも入らざりけり。^①「杉叢^{すぎむら}ならば」など詠みたるは、その折の事なるべし。

匡衡、尾張の守などになりなければ、猛^{まう}になりて、え厭^{いと}ひも果てず、^{*}挙周^{たかちか}など産みてければ、幸人^{さいわいびと}といはれけり。(中略)

挙周、望む事有けるに、^{*}申文^{まうしがみ}の奥に書きて、^{*}鷹司^{たかつかさどの}殿へ参らせたる、

c ^B思^{おも}へ君頭の雪を払ひつつ消えぬ先にと急ぐ心を

入道殿御覧じて、いみじくあはれがらせ給ひて、^{*}和泉^{わいず}には急ぎなさせ給ひたりけるとぞ。

和泉へ下る道にて、挙周、例ならず大事にて、限りになりたりければ、

d 代はらむと思ふ命は惜しからでさても別れむ程ぞ悲しき

e 頼みては久しく成りぬ住吉の^cまつこのたびの^oしるし見せなむ

と書きて、住吉に参らせたりけるままに、挙周、心地さはさはと止みにけり。その後、めでたき事に、世に言ひののしりけり。

II 『沙石集』

大江^{おほゑのたかちか}挙周、病重くして、たのみなかりけり。住吉の御崇りなりければ、母、赤染衛門^(は)怠^はり申し

て、「我が命を召して、彼をば助け給へ」と祈り申して、^{*}御てぐらに書きて御社^{みやしろ}に奉る。

III 『今昔物語集』(現代語訳) ※ただし、和歌のみ現代語訳していない

sample

(注) * 匡衡…大江匡衡 * のがひ厭ひ…嫌って遠ざける

* 申文…公卿などが、叙位・任官を朝廷に申請する文書 * 鷹司殿…藤原道長の妻。倫子

* 和泉には急ぎなさせ給ひたりける…ただちに和泉守に任ぜられたということ

* 御てぐら…神に奉納する御幣。ぬさ

問一 二重傍線部A「入道殿」は藤原道長を指す。赤染衛門は道長の娘である「彰子」(一条天皇の中宮)に仕えた。同様に「彰子」に仕えた人物を、次のア～オからすべて選び記号で答えなさい。

ア 紫式部 イ 菅原孝標女 ウ 清少納言 エ 和泉式部 オ 藤原道綱母

問二 傍線部(い)「あやにくに」(ろ)「有がたかり」(は)「怠り」の本文中の意味として適当なものを、それぞれ記号で答えなさい。

(い) ア 不思議だ イ 無理に思い込む ウ 都合が悪い エ 無意識だ

(ろ) ア つらく感じる イ 幸せである ウ めったにない エ もったいない

(は) ア 深く悩む イ 病気が治る ウ 一心に励む エ あきらめる

問三 和歌a・bの説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。なお、和歌aの「難波」には「何は」、「住吉」には「住み良し」が掛かっている。「住吉の松」(住吉大社がある摂津国住吉一帯の松林)は歌枕である。

ア 和歌aは匡衡が赤染衛門に送った歌で、私が今いる住み良いという名を持つ住吉よりも、恋しいあなたがいる都の方がよいという内容である。

イ 和歌aは赤染衛門が匡衡に送った歌で、遠く離れたあなたが恋しくて何も手につかず、あなたがいない都は住み良くもないという内容である。

ウ 和歌bは匡衡が赤染衛門に送った歌で、住吉という名前に長居しそうだと言った風流な人は言ったようだが、私は都の方がよいという内容である。

エ 和歌bは赤染衛門が匡衡に送った歌で、私のいる都の方が住吉より良い場所なので、あなたには早く都に帰ってきてほしいという内容である。

問四 和歌cの二重傍線部B「思へ君」とは、「君」(入道殿＝藤原道長)に対し、何を「思へ」と述べているのか。和歌の内容や前後の文脈を踏まえて説明しなさい。

問五 和歌dについて、「文章Ⅱ」では和歌を詠んだ経緯が書かれている。文章Ⅱの内容も踏まえて和歌dを現代語訳しなさい。特に、「代はらむ」「別れむ」についてはこれらの言葉の意味が明確になるように、必要な言葉を補って記述しなさい。

問六 傍線部①について、「文章Ⅲ」ではその内容が書かれている。文章Ⅲを読み、和歌fについて次の問いに答えなさい。

(1) 和歌fを和歌eと比べて読むと、両方の和歌にそれぞれ二重傍線部C「まつ」E「松」という語があるが、植物の「松」の意味のほかに、掛詞としてそれぞれ別の意味の語が掛かっている。掛かっている語の意味がわかるように、それぞれ別の漢字を用いて表記しなさい。

(2) 和歌fを和歌eと比べて読むと、両方の和歌にそれぞれ二重傍線部D・F「しるし」という語があるが、「しるし」の具体的な内容をそれぞれ一五字以内で説明しなさい。

(3) 和歌fの傍線部②「杉叢ならばたづね来なまし」について、「杉叢」が暗喩する内容を明示した上で現代語訳しなさい。

検査Ⅲ 国語

【三】次の文章は『史記』の一節である。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。
なお、設問の都合で訓点を省略したところ、文字を改めたところがある。

楚使^ム柱^{*}国昭陽^{ヲシテキテ}將^{ヒキ}兵^ヲ而攻^メ魏^ヲ破^リ之^ヲ於
襄^{じやう}陵^{りやう}得^ニ八^{いふ}邑^{やう}又移^{シテ}兵^ヲ而攻^ム齊^ヲ齊王患^フ之^ヲ。
陳^{ちん}軫^{しん}適^①為^ニ秦^ノ使^ス齊王曰^{ハク}為^ス之^ヲ奈^②何^{セント}陳
軫^{ハク}曰^{ハク}王^③勿^{カレ}憂^{フル}請^フ令^{メント}罷^メ之^ヲ即^チ往^{キテ}見^ニ昭陽^ヲ軍
中^{一ニ}曰^{ハク}願^{ハクハカン}聞^ニ楚^ノ國^ノ法^ヲ破^リ軍^ヲ殺^ス將^ヲ者何^ヲ以^テカ
貴^{たつと}之^{クスルト}昭陽曰^{ハク}其^ハ官^ニ為^シ上^ト柱^ヰ國^{一ト}封^{ズト}上^ニ爵^ニ執
珪^ニ陳軫曰^{ハク}其^レ有^ル貴^キ於^ニ此^{ヨリモ}者^上乎^ト昭陽曰^{ハク}令^ニ
尹^{ナリト}陳軫曰^{ハク}今^⑤君^ニ已^ニ為^リ令^ニ尹^一矣^レ此^レ國^ノ冠^ニ之^ヲ
上^{ナリ}臣^ニ請^フ得^レ譬^{フル}之^ヲ人^ノ有^リ遺^ニ其^ノ舍^人一^{*}卮^{シノ}酒^ヲ
者^上舍^人相^ニ謂^{ヒテ}曰^{ハク}數^{ハク}人^ノ飲^{マバ}此^ヲ不^レ足^ニ以^テ徧^ク一^{スルニ}請^フ
遂^ニ画^{キテ}地^ニ為^{ツクリ}蛇^ヲ蛇^先成^ル者^一独^リ飲^{マント}之^ヲ一^人曰^{ハク}
『吾^ガ蛇^先成^{ルト}』拳^{ゲテ}酒^ヲ而^チ起^{ハク}曰^{ハク}『吾^ク能^{ラント}為^ニ之^ヲ足^ヲ』及^{ヒテ}
其^ノ為^ニ之^ガ足^一而^ニ後^ニ成^ル人^ノ奪^{ヒテ}之^ガ酒^ヲ而^チ飲^ミ之^ヲ曰^{ハク}
『蛇^ハ固^{ヨリ}無^シ足^一。今^ニ為^ル之^ガ足^一是^レ非^{ザル}蛇^ニ也^ト』今^ニ君^ノ相^{タリ}

楚、而攻^{シテ}魏、破^レ軍^ヲ殺^{セリ}將^ヲ功莫^シ大^{ナルハ}焉^{ヨリモ}冠^⑧之上^ハ
 不^レ可^{カラ}以^テ加^フ矣。今又移^{シテ}兵^ヲ而攻^ム齊^ヲ攻^{メテ}齊^ヲ勝^{ツトモ}
 之、官爵不^レ加^{ハラ}於^ニ此^{ヨリモ}攻^{メテ}之^ヲ不^レ勝^{ンバ}身死^シ爵奪^{ハレ}
 有^{ラン}毀^{セリ}於^ニ楚^ニ此^レ為^{リテ}蛇^ヲ為^ル足^ヲ之說也。不若引^⑨
 兵而去、以德齊。此持^⑩滿之術也。昭陽曰、
 「善」引^{シト}兵^ヲ而去^ル。

『史記』「楚世家」による

(注) * 「柱国」…戦国時代の楚の官職。大臣

* 「襄陵」…魏領。今の山西省南部の都市

* 「陳軫」…縦横家。戦国時代の論客

* 「上爵執珪」…上級の爵位と朝廷での高い位

* 「令尹」…宰相。楚の最高位の官職

* 「卮酒」…大杯の一杯分の酒

* 「徧」…行き渡る

* 「毀」…そしる。毀謗

問一 傍線部①「適」②「奈何」⑤「已」⑦「固」の読みを送り仮名も含めて現代仮名遣いで答えなさい。

問二 傍線部③「王勿憂。」について、

(1) すべて現代仮名遣いのひらがなで書き下しなさい。

(2) 現代語訳しなさい。

問三 傍線部④「之」⑥「之」はそれぞれ何を指すか簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部⑧「冠之上不可以加矣。」について適語を補って現代語訳しなさい。

問五 傍線部⑨を「軍隊を退却させ帰国し、齊の国に恩を売るに越したことはない。」という意味に訳せるように返り点を施しなさい。(送り仮名は不要。)

問六 傍線部⑩「持満之術」はどのようなことを提案しているのか。故事成語「蛇足」の意味に触れながら八〇字以内で説明しなさい。

問七 次のうち、縦横家とされる人物やその主張、また縦横家の説を紹介した書物とは関係のないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- a 張儀 b 蘇秦 c 鬼谷子 d 戦国策 e 公孫龍 f 合従連衡

問六							問五				問四	問三						問二	問一
う	型	法	い	何	化	論	を	に	初	最	ア	さ	て	方	的	解	時	最	①
に	を	技	う	に	に	理	抱	感	に	初	×	れ	矛	と	判	決	間	初	円滑
な	、	術	こ	重	よ	的	く	じ	結	に		る	盾	そ	断	す	を	に	
る	目	「	と	き	つ	で	か	る	論	主		社	を	れ	に	る	か	結	
こ	的	、	を	を	て	あ	ら	た	が	張	イ	会	解	に	生	こ	け	論	②
と	と	「	理	置	異	る	。	め	分	を	×	全	決	反	か	と	て	、	落第
。	場	社	解	く	な	こ		、	か	述		体	す	す	す	、	あ	事	
	面	会	し	の	つ	と		心	つ	べ		の	る	る	こ	そ	ら	を	
	に	「	、	か	て	の		理	て	る	×	利	こ	見	と	れ	ゆ	述	指南
	よ	の	「	に	お	捉		的	し	の		益	と	方	を	を	る	べ	
	つ	四	経	大	り	え		、	ま	は		に	で	、	目	公	可	る	
	て	つ	済	き	、	方		道	う	、	エ	目	、	そ	的	共	能	おちい	④
	使	の	「	な	そ	や		義	面	自	○	を	多	れ	と	の	性		
	い	領	、	影	れ	論		的	白	己		向	様	ら	し	福	を		
	分	域	「	響	ぞ	理		な	み	主	オ	け	な	二	、	祉	吟	⑤	ちゅうしゅつ
	け	の	政	を	れ	的		強	の	張	○	さ	人	つ	常	と	味		
	ら	思	治	受	の	思		い	な	が		せ	々	を	識	い	し		
	れ	考	「	け	社	考		抵	い	強		る	で	総	的	う	矛		
	る	法	、	る	会	は		抗	展	く		。	構	合	な	政	盾		
	よ	の	「	と	が	文		感	開	最			成	し	見	治	を		

【一】
問一 各2点
問二 4点
問三 12点
問四 各2点
問五 10点
問六 14点
計60点

検査Ⅲ 国語 解答例

記号
国
番号

○ ○

記号
国
番号

○ ○

検査Ⅲ 国語 解答例

【一】 問一 完答2点 問二 各2点 問三 3点 問四 4点 問五 5点
問六(1) 完答2点 (2) 各2点 (3) 4点 計30点

問一	ア・エ	問二	(い) ウ	(ろ) ウ	(は) イ	問三	ア
問四	白髪頭の老い先短い母親が、息子が早く任官されるように願う気持ち。						
問五	我が子の命の身代わりになろうとする私の命は惜しくはないが、それにしてもそのために我が子と死に別れるようなことは何とも悲しいことだ。						
問六	(3)	(2)	(1)				
杉が生い茂る稲荷神社(の娘のもと)ならば、あなたはきつと訪ねて来るだろうに。		F	D	C 先づ		E 待つ	
		匡	拳				
		衡	周				
		が	の				
		我	病				
		が	気				
		家	が				
		に	平				
		通	癒				
		つ	す				
		て	る				
		来	こ				
		る	と				
		こ	。				
		と					
		。					

【二】 問一 各1点 問二 各2点 問三 各3点 問四 4点
問五 3点 問六 7点 問七 2点 計30点

問七	問六				問五	問四	問三	問二		問一						
e	況	付	失	勝	不 _レ 若 _ニ 引 _レ 兵而去、以德 _レ 斉。	あなたの冠（官位）の上には、これ以上冠（官位）を加えられません。	④	(2)	(1)	①						
	を	け	う	つ			楚による斉への侵攻	王様心配することはありません。	おううれうるなかれ。	たまたま	②	いかんせんと				
	保	足	斉	て									⑤	すでに	⑦	もとより
	つ	し	へ	も												
	よ	で	の	昇												
	う	あ	侵	進												
	に	る	攻	に												
	行	。	は	つ												
	動	そ	、	な												
	を	れ	一	が												
	し	よ	蛇	ら												
	た	り	足	ず												
	ほ	も	一	、												
	う	、	つ	負												
	が	今	ま	け												
	よ	の	り	れ												
い	十	、	ば													
。	分	無	多													
	な	用	く													
	状	の	を													